

一般選抜〈後期2教科型〉

解説

物理

傾向

物理からは第1問、第2問、第5問の3題が出題された。試験時間は70分である。すべてマークシート方式で、出題の方針は、教科書レベルの基礎力が身についているかを試すものである。

第1問、第2問の問題の大半は教科書の例題や本文中の小問程度の難易度であるが、一部、教科書の節末問題や章末問題程度の応用力が問われる問題も含まれていた。第5問は、問題文を注意深く読み、その内容を的確に把握しつつ、論旨にそって順序正しく考え、解答して行く力が要求される。教科書の本文をしっかり理解していれば解答できるはずである。

対策

物理基礎と物理の全範囲から出題した。第1問、第2問は教科書本文の基礎知識を直接問う問題が中心である。教科書の本文に書かれている内容を理解し、教科書の例題や小問を解く力を養っておけば、十分対応できるだろう。

第5問の前半では、教科書の例題や本文中の小問程度の難易度であるが、後半では節末問題や章末問題程度、場合によってはそれを超える応用力も要求される。初めて見る

ような問題でも、途中であきらめることなく、題意を正しく追ってゆくなれば、基礎知識とその初歩的な組み合わせで対応できるものである。教科書をじっくり学んでおくことを期待したい。

化学

傾向

化学からは第3問、第4問、第6問の3題が出題された。それぞれ6問、6問、8問の独立した小問からなり、すべて8択のマークシート形式で計20問、試験時間は70分であった。出題範囲は「化学基礎」と「化学」のすべてである。第3問は化学の基礎事項や基本法則に関する問題、第4問は有機化合物に関する基礎的な知識を問う問題が中心である。第6問は化学の基本法則に関する問題と、無機物質に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出题された。

対策

どの問題についても、教科書に記載されている基本事項を十分に理解しておくことが重要である。教科書の例題や章末問題の内容をしっかりと理解し、初歩的な計算問題は必ずできるようにしておくことが大切である。

解答

理工学部：全学科
建築都市デザイン学部：全学科
情報工学部：全学科

[令和7年3月4日(金)実施]

第1問 (物理)

1. ⑤ 2. ④ 3. ④ 4. ③ 5. ② 6. ④

第2問 (物理)

7. ① 8. ③ 9. ② 10. ② 11. ① 12. ③

第3問 (化学)

13. ② 14. ⑥ 15. ① 16. ③ 17. ③ 18. ③

第4問 (化学)

19. ① 20. ③ 21. ① 22. ⑦ 23. ③ 24. ⑥

第5問 (物理)

25. ④ 26. ① 27. ⑤ 28. ③ 29. ⑤ 30. ③

31. ④ 32. ③

第6問 (化学)

33. ⑧ 34. ⑥ 35. ⑦ 36. ④ 37. ② 38. ②

39. ⑧ 40. ⑤